

第75回中国五県都市対抗軟式野球大会広島県決勝大会

3/30(土)の1回戦は、ダイクレ（呉地区代表）と対戦しました。

初回、先頭宮本の2塁打でチャンスメイクすると2番武田が送りバントの際に相手の送球ミスにより先制すると5番引野のタイムリーヒットで2点先制しました。追加点を入りたい小泉病院は7回先頭島袋の2塁打でチャンスを作ると四球と送りバントで1アウト2.3塁を作るも後続が続かず得点にはなりませんでした。先発の延近が初回から安定した投球を見せ、2安打完封により2-0で勝利しました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	H	E
ダイクレ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
小泉病院	2	0	0	0	0	0	0	0	×	2	8	0

バッテリー：延近 - 西川 2塁打：宮本（1回）、島袋（7回）

3/31(日)の準決勝は、広島日野自動車（広島地区代表）と対戦しました。

初回、先頭武田の四球と盗塁でチャンスを作ると4番橋本(康)のタイムリーヒットで先制しました。その後はお互いの投手が要所で抑え、迎えた6回表四球でランナーを溜めると相手のセフティースクイズにより同点になりました。勝ち越したい小泉病院は7回裏橋本(幸)の2塁打でチャンスを作ると尾首、引野のエンドランが決まり3得点奪いました。その後は先発の平が安定した投球を見せ4-1で勝利しました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	H	E
日野自動車	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0
小泉病院	1	0	0	0	0	0	3	0	×	4	9	2

バッテリー：平 - 橋本(幸)（1～7回）・西川
2塁打：遠目塚（5回、8回）、橋本(幸)（7回）

決勝は、造幣局広島支局（西部地区代表）と対戦しました。

初回、相手の先頭打者に内野安打を浴びると1アウト3塁のピンチを迎えるも守備の好プレーに助けられ先制点を与えませんでした。点を取りたい小泉病院ですが5回裏相手のエラーと送りバントでチャンスを作るもあと一本が出ず無得点に終わりました。7回裏先頭遠目塚のヒットと西川の送りバントでチャンスを作ると渡辺塁のタイムリーヒットで欲しかった先制点を取りました。投げては延近・笹川のリレーで1-0で勝利し令和3年ぶりの優勝を手にすることが出来ました。

中国五県本戦は5/18(土)11時より岡山県代表と鶴岡一人記念球場で行われます。引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	H	E
造幣局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
小泉病院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4	0

バッテリー：延近（1～6回）・笹川 - 西川



👉 令和 3 年ぶりの優勝



👉 3 試合 1 失点で抑えた投手陣



👉 大活躍のベテラン選手